厚岸町立真龍小学校　学校便り

真龍小便り

【学校の教育目標】
☆心と体をきたえる子
☆美しい心をもつ子
☆考えて行動する子
☆生き生きと学ぶ子

No.１０　令和４年１１月３０日発行

「今になって思う『我が家のルール』の大切さ」

校　長　斉　藤　直　彦

もう、40 年以上も昔のことですが、私が小学生の頃は、よく母親から、「よそはよそ、うちはうち」という言葉を聞いていました。

たしか、私が小学 1 年生の図工の時間に、初めて絵の具を使う授業がありました。担任の先生からは、絵の具やパレットなどを家庭で用意してくるように言われました。ほとんどのクラスメイトは、近所の文房具屋さんで新品のパレットを購入していたようですが、私は、もともと家にあった使い古されたパレットを持っていくように母から言われました。私は母に、「こんな、古いパレットは嫌だ！」と言いましたが、「よそはよそ、うちはうち！」と言われて、仕方なくそのパレットを持っていきました。

図工の授業が始まって、パレットの使い方を先生が説明し始めました。先生は、「パレットの 1 つの小部屋に絵の具を 1 色ずつ入れなさい。」と指示しました。私以外のみんなは、指示通り、全色を 1 つずつの小部屋に入れることができましたが、私のパレットは、小さな部屋が 1 つもありませんでした。困っている私を見かねた先生が、「大部屋を使ってもいいよ。」とアドバイスしてくれて、ほっとした、という記憶があります。

当然のように、私は家に帰って、「みんなのパレット、新品だったよ！俺も買ってくれ！」と母にお願いしましたが、母の回答は、いつものように、「よそはよそ、うちはうち。」と、変わりませんでした。当時は、しぶしぶ、「〇〇ちゃんの家のお母さんは、優しくていいなぁ。」などと、憎まれ口を言いながら、言うことを聞いていました。

現代の子どもが「〇〇ちゃんのうちは買ってもらえたよ！」などと親におねだりする「モノ」は、スマホやゲームなどと、昔とはずいぶんと変わりましたが、「我が家のルールを大切にする」という「文化」は変わっていないと思います。（真龍小のご家庭は、そうであってほしい。）

でも、一般的に言われる「最近の子ども達」は、「うちはうちだから」と親が言っても、それだけでは納得しない子どもが増えているそうです。「最近の子ども達」が納得するには、なぜ、そのルールが大切なのか、そのルールを守るとどういうメリットがあるのか、守らないとどういうペナルティがあるのかなどを丁寧に説明し、子どもの考えも聞きながら話し合いをして、「我が家のルール」を教えていくことが大切だと言われています。

思い返すと、私の母も、「うちはうち」と言いながらも、母の子どもの頃の貧しかった話や、「大人になってから、親の言うことは間違いなかったと必ず気が付く時が来るから。」などと、いろいろな話を交えながら聞かせてくれていました。だから私は、中学生、高校生と成長しても、時には反抗しながらも納得できていたのだと思います。

私の子どもの頃のことを書いたので、少し恥ずかしさはありますが、「我が家のルール」の大切さについて、共感していただけるご家庭が 1 つでもありましたら、大変うれしいです。

日	曜	１２月の主な行事
1	木	厚岸町標準学力調査
2	金	配本日
3	土	
4	日	
5	月	講話朝会　運動週間
6	火	短縮日課　第２次校内研究会
7	水	短縮日課　PTA 役員会
8	木	
9	金	定時退勤日 中休み読み聞かせ
10	土	
11	日	
12	月	児童朝会
13	火	短縮日課　SC 来校
14	水	短縮日課
15	木	真龍中１日入学
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	大掃除週間(～２３日)
20	火	短縮日課　クラブ⑥(最終) 湖北地区学校運営協議会
21	水	短縮日課
22	木	
23	金	講話朝会　後期第 1 ステージ終了 交通安全指導日
24	土	冬季休業開始(～1/15)
25	日	
26	月	
27	火	子ども未来ミーティング
28	水	朝読書回収日
29	木	
30	金	
31	土	

「ながら見守り」のお願い

児童の下校時刻に合わせて，また夏冬春休み中は日中家の外に出て，庭作業や掃除などを行いながら，同時に児童の見守りを行う「ながら見守り」への協力をお願い致します。

全国学力学習状況調査の結果

４月に行われた全国学力学習状況調査の本校の結果についてお知らせいたします。

見方　◎：よくできている問題　　▼：つまづきの多い問題

・・・国語・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

◎　当該学年の前の学年までに配列されている漢字を書き、文や文章中で使うこと。

▼　互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりする。

▼　人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする。

▼　文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける。

・・・算数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

◎　数の相対的な大きさについての理解を深める。

◎　乗法の計算が確実にでき、それを適切に用いる。

◎　四則に関して成り立つ性質についての理解を深める。

▼　ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係とを比べる場合に割合を用いる場合があることを理解する。

▼　伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察する。

・・・理科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

◎　問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことできる。

◎　観察などで得た結果を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる。

▼　日光は直進することを理解している。

▼　メスシリンダーという器具を理解している。

▼　自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

解答状況を見ると，漢字や計算などの力をつけてきているものの、教科の結果に▼（課題）も見られ、学習したことの定着や考えたことを表現するといった点にも課題があります。

この結果を受け、宿題、家庭学習、漢字 50 問テスト、計算力テストなどを通して、漢字や計算に関する取組を進めていきます。また、「学習のねらい」「何をするのか」を明確にして、子どもたちが主体となって学んでいけるよう、授業改善に努めていきます。

ブックフェスティバル

11 月 29 日（火）に、１・２年生でブックフェスティバルを行いました。この日は、ボランティアの方を含め９名の方にお世話になりました。

ブックフェスでは、複数の読み手による読み聞かせや体育館いっぱいに広げられた本の中から、自分が読みたい本を探す取り組みが行われました。参加した子供たちは、わくわく感を感じながら参加していました。

組踊伝承の会　講演

１１月９日（水）に、文化庁の文化芸術による子供育成総合事業による、沖縄県の組踊伝承の会の方たちによる「組踊」の公演が行われました。残念ながら、全員が体育館の中で鑑賞することはできませんでしたが、本物の組踊に触れる機会はとても貴重なものとなりました。

メール確認をお願いします

学校からは、様々な連絡をメールで行っています。季節は冬となり、暴風雪による臨時休業など急な連絡を行うこともあります。保護者の皆様にはお手数ですが、定期的にメールが届いているかどうかの確認をしていただきますようお願いいたします。

いじめ防止対策委員会の活動から

１０月に今年度第２回目のいじめアンケートを行いました。今回も「あなたは、嫌な思いをしたことがありますか」という質問する形で行われました。このアンケートの結果、

「４月から嫌な思いをしたことがある」
➡４８人(第１回目３３人)

また、その内訳は、

冷やかしやからかい、悪口をいわれる	24 人
仲間はずれや無視をされる	10 人
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたりする	14 人
ひどくぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする	５人
お金や持ち物をかくされたり、いたずらされたりする	２人
恥ずかしいことや危険なことをされたり、させられたりする	４人
メールや無料通話アプリ（SNS 等）で悪口を書かれたり、仲間はずれにされたりする	１人

その内、今も嫌な思いをしている子が 27 人でした。

このアンケートをもとに、担任が全ての子どもと個別の面談をし、「どんな嫌な思いをしたのか」などの聞き取りや、指導を行っています。

また、指導内容などについては、校内いじめ防止対策委員会で、個々のケースを取り上げ、情報共有を行い、学校全体で指導に当たる体制をとっています。

このように、学校では、担任を中心に「嫌な思いをした子」と「嫌な思いをさせた子」に寄り添い、継続的に目を配ることで、安心安全な学校づくりにつなげています。その他、学校では相談や通報も受け付けております。お気づきのことがありましたら、学校までお知らせください。

真龍小学校便り　おすすめ本(R4.12月号)

『クリスマスマーケットのふしぎなよる』

作／たなか鮎子（講談社）

真龍おはなし隊　石倉香奈

今月は、今の時期にぴったりな絵本を紹介します。

ヨハンがおじいちゃんとはじめて訪れたクリスマスマーケット。そこで、ツリーから落ちて困り果てた、金色のお星さまに出会います。マーケットの番人であるくるみ割り人形と一緒に、ガラス細工の天使やジンジャークッキーなど、マーケットの仲間たちとみんなと協力して、お星さまを元に戻そうとがんばるのですが、いじわるな北風が邪魔をして・・・。

温かみがある幻想的な絵で、ヨーロッパのクリスマスマーケットのファンタジックな雰囲気を伝えてくれます。細かなところまで緻密に描かれていて、読むたびに新しい発見がありそうです。

大人の和みタイムにも、読み聞かせにもおすすめの絵本です。